



一般財団法人 メディポリス医学研究財団

メディポリス国際陽子線治療センター

大自然の中のリゾートに滞在し  
体に優しい陽子線治療を受ける

QOLを重視し  
体も心も同時に癒す

近年、がんは克服でき  
る病になってきているが、  
治療への忍耐という印象



メディポリス指宿から雄大な大自然と指宿市の眺望が楽しめる。

が今だにつきまとう。それを払拭する治療スタイルを確立したのが、メディポリス国際陽子線治療センターだ。  
ここで言うのは最先端の陽子線治療。痛みもない1日十数分の照射を平均で3〜4週間続ける治療であり、それ以外は自由に過ごせる。センターは日本有数の温泉地である指宿市を見渡せる広大な敷地の中にホテルも隣接。温泉・温水プール・トレーニングジム・遊歩道などのあるリゾートに滞在しながら、ゆったりとした癒しの時間を過ごせるようにしている。日常生活から少し離れて体も心も同時に

癒す。本来の治療とはそうあるべきだと思います。ここで人生をリセットできたとおっしゃる方もいます」と  
菱川良夫センター長は語る。

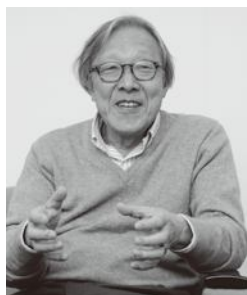
次の一步につながる  
治療の可能性を追求

2011年の開設以来、さまざまながん治療を行ってきたが、特に体の奥深くにあり治療が困難とされる膵がんや、QOL(生活の質)が重視される前立腺がんなどに結果を残してきた。さらに、陽子線治療はできないとされてきた乳がん治療を可能にするための研究を重ね、16年6月までに早期乳がんの臨床試験を4例実

施。今後とも積極的に取り組んでいくという。センター内には子どものいる患者のために保育園も設置。家族と一緒に過ごしながら治療に専念することもできる。

「医師と患者さんの壁を取り除きたいので、医師も白衣を着ないというルールを作りました。当センターではスタッフ全員が、それぞれの立場で幸せな医療の提供を考え、実践しています。医学研究は病気の方を向いています。医療は患者さんの方を向いています。スタッフは研究者ではなく医療従事者でなくてはならないのです」と穏やかな笑顔

を見せる菱川センター長。2013年には医療の質と安全を評価する国際的な機関であるJCIの認証を受け、指宿から世界に向けて陽子線治療を発信。海外からの患者も多く訪れている。



センター長 菱川良夫  
ひしかわ・よしお ●医学博士。日本医学放射線学会認定放射線科専門医。九州大学客員教授、鹿児島大学客員教授、順天堂大学客員教授。



診療科目：放射線科  
受付時間：月～金 8:30～16:30  
※完全予約制  
休診日：土・日・祝・年末年始  
〒891-0304  
鹿児島県指宿市東方5188  
TEL.0993-23-5188  
<http://medipolis-ptrc.org/>

※陽子線治療は先進医療として実施。照射技術料が288万3千円、通常の放射線治療と共通する部分(入院・検査)は健康保険適用。